



あったかハート推進週間の取組（4月）

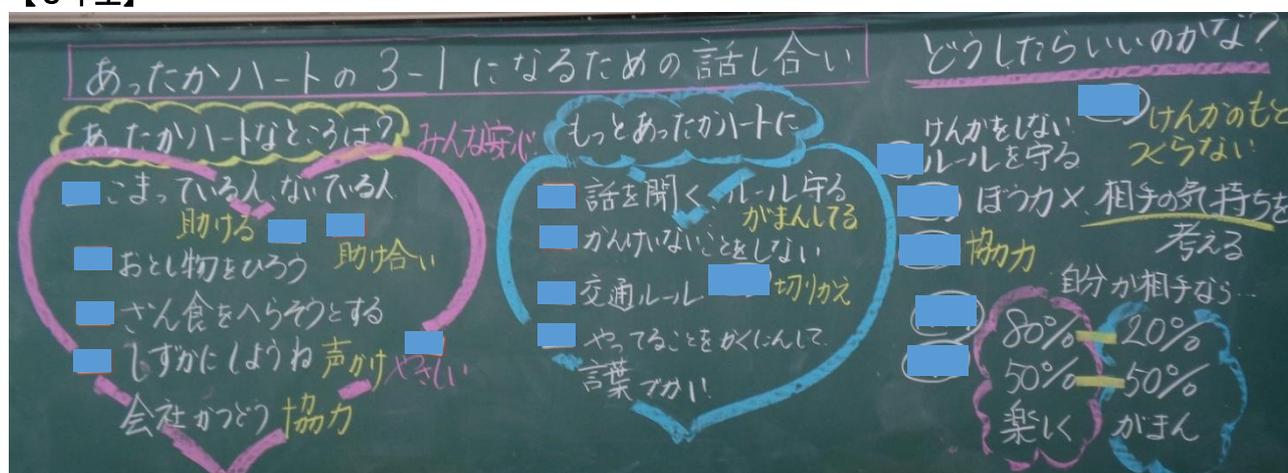
今年度も、附属小学校では子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。その一つとして、月に1回「あったかハート推進週間」を設置し、相手を思いやる心や寛容な心を育てようと、全校一斉の道徳科授業や人権を意識した児童会活動等を展開します。

4月は、以下の内容で学級会を行いました。

月	期 間	内 容
4月	4/17（月）～21（金）	学級活動①「みんなあったかハートの学級」になるための話し合い

1 実際の授業

【3年生】



3年生は学級の様子を見つめ直し、もっとあったかハートな学級にするためにはどうすればよいかを話し合いました。子供たちは、相手の気持ちを考えて行動し、学級のためには少しの我慢が必要だと考えていました。

【5年生】

5年生では、学級代表が話し合いを進め、あったかハートな学級をつかっていくためには、どのようなことが必要か、みんなの意見を取り入れながら学級として目指す方向性を探っていました。

すぐに実践できることとして、「言葉遣いを丁寧にする」「集会を開いて仲を深める」などが挙がりました。身近なところから取り組もうと考えていました。

2 各学年で行った授業の感想

- あったかハートがいっぱいになるようにしていきたいです。（1年生）
- あったかハートは相手のことを先に考える心だと思うから、相手のことを先に考えるようになりたいです。（2年生）
- あったかハートとは、いじめや嫌なことがなくなることだと思います。（3年生）
- 思いやりがあって、困っている人がいたら助けてあげる学級にしていきたいです。（4年生）
- 相手を思いやる言葉を大切にしていきたいと思います。思いやりの心で接すると、言われた人があったかハートになると思うからです。（5年生）
- クラスのすてきなところに「みんなやさしい」というのがあると思います。その優しさを1～5年生にも伝えたいです。（6年生）

今後も、子供たちに温かな心が育っていく様子をお伝えしていきます。